

によらいじんりきほんだいにじゅういち

# 如来神力品第二十一

## 【現代語訳】

釈迦牟尼仏しやかむにぶつの真理と正しい教あらわえを白蓮華に譬えたお経。

第二十一章 仏の神通力を顯すことにより、法華經の受持を勧める章

## 1、諸しよぶつ仏救世者 住じゅう於大神通 為悦衆生故 現無量神力

### 【現代語訳】

1、世の人々を救わんとする諸の仏たちは、偉大な神通力を有しており、衆生を悦ばしめようとされて、計り知れないほどの神通力をあらわされた。

## 2、舌相至梵天 身放無数光 為求仏道者 現此希有事

### 【現代語訳】

2、その舌は広く長く梵天ぼんてんにとどき、身体からは無数の光明を放たれた。そして、仏への道を求める者たちのために、このようなたぐいまれなことを現された。

## 3、諸しよぶつ仏警效声 及弾指之声 周聞十方国 地皆六種動

### 【現代語訳】

3、多くの仏たちの咳せき払いばらいの声、それと指はじきの音は、十方の国々（この世のあらゆる世界）にくまなく聞こえ、大地は六種類（上下前後左右）の揺れ方をした。

いぶつめつどご のうじぜきようこ しよぶつかいかんぎ げんむりようじんりき  
4、以仏滅度後 能持是經故 諸仏皆歡喜 現無量神力

【現代語訳】

4、釈迦牟尼仏の入滅の後に、衆生たちがこの法華經を信じ行うことを見通して、諸の仏たちは歡喜して、計り知れない神通力を現された。

ぞくるいぜきようこ さんびじゆじしや おむりようこうちゆう ゆこふのうじん  
5、囑累是經故 讚美受持者 於無量劫中 猶故不能尽

【現代語訳】

5、この法華經を伝えようとして、法華經を信じ行う人々を贊美することは、計り知れない程の長時間にわたって贊美し続けたとしても、それでもまだ尽くすことは出来ない。

ぜにんしくどく むへんむうぐ によじつぽこうくう ふかどくへんざい  
6、是人之功德 無辺無有窮 如十方虚空 不可得辺際

【現代語訳】

6、この法華經を信じ行う者の功德は、限りなく、尽きることはないであろう。それはあらゆる世界（この世の宇宙全体）の一切の事物を包容する空間が、その果てが知られないのと同じようなことである。

のじぜきようしや そくいけんが やつけんたほうぶつ ぎゆつしよふんじんしや  
7、能持是經者 則為已見我 亦見多宝仏 及諸分身者  
うけんがこんにち きようけしよぼさつ  
又見我今日 教化諸菩薩

【現代語訳】

7、この法華經を信じ行う者は、則ちすぐさま釈迦牟尼仏に出会ことができる。また、多宝仏（法華經が眞実であることを証明した仏）と、多くの分身仏とを見ることができる。また、私（釈迦牟尼仏）が現世において教化した菩薩たちを見るのである。

のじぜきようしや りようがぎゆうふんじん めつどたほうぶつ いつさいかいかんぎ  
8、能持是經者 令我及分身 滅度多宝仏 一切皆歡喜

【現代語訳】

8、この法華經を信じ行う者を見て、私（釈迦牟尼仏）と私の分身仏と多宝仏など全ての仏は歡喜なさるのである。

じつぼうげんざいぶつ びようかこみらい やっけんやくよう やくりようとくかんぎ  
9、十方現在仏 竝過去未来 亦見亦供養 亦令得歡喜

【現代語訳】

9、あらゆる世界にまします現在仏と過去仏と未来仏などの仏たちは、このありさまを見、仏たちは、法華經を信じ行う者を供養したり歡喜させるであろう。

しょうぶつざどうじょう しょうとくひようほう のじぜつきようしや ふくやくととく  
10、諸仏坐道場 所得秘要法 能持是經者 不久亦当得

【現代語訳】

10、仏たちは覺りの座に坐らされて、仏として獲得された神秘で大切な法を、この法華經を信じ行う者に、長い時間が過ぎないうちに、仏の法を獲得することができるであろう。

のじぜきようしや おしよほうしぎ みようじぎゆうごんじ ぎようせつむくじん  
11、能持是經者 於諸法之義 名字及言辞 樂説無窮尽  
によふうおくちゆう いつさいむしやうげ  
如風於空中 一切無障礙

【現代語訳】

11、この法華經を信じ行う者が、仏のあらゆる教えの意義と名とそれを語り示す言葉を、意のままに説いて理解するであろう。そのありさまは限りなく豊かで、尽きることがない。それは、あたかも風が空中で何のさまたげもないかのようなようである。

おによらいめつご ちぶつしよせつきよう いんねんぎゆうしだい ずいぎによじつせつ  
12、於如来滅後 知仏所説経 因縁及次第 随義如実説

【現代語訳】

12、そして、釈迦牟尼仏が入滅の後に、釈迦牟尼仏が説かれた經典と、法華経が広められる因縁と順序次第を知って、真の意義に従って真実の法である法華経を説いていくであろう。

にようにちがつこうみよう のうじよしよゆうみよう ししんぎようせけん のうめつしゆじようあん  
13、如日月光明 能除諸幽冥 斯人行世間 能滅衆生闇  
きようむりようぼさつ ひつきようじゆういちじよう  
教無量菩薩 畢竟住一乘

【現代語訳】

13、太陽や月の光が、さまざまな暗い闇をのぞくことができるように、法華経を広める人は、この世で活動し衆生の心の闇を滅することができる、数えきれないほど多くの菩薩たちは、一仏乗の教えに目覚めさせ引き入れるであろう。

・一仏乗・・・法華経の教え、仏に成るための唯一の教え

ぜこうちしや もんしくどくり おがめつどご おじゆじしきよう  
14、是故有智者 聞此功德利 於我滅度後 応受持斯経  
ぜにんのぶつどう けつじようむうぎ  
是人於仏道 決定無有疑

【現代語訳】

14、それゆえに、智慧あるものは、この功德のすばらしさを聞いて、釈迦牟尼仏の入滅の後に、この法華経を信じ修行すべきである。そうするならば、この者は仏の道において安住して、迷いの心がなく、苦しみや悩みを起こすことはないであろう。